学校番号	102

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新・社会と情報」　（日本文教出版）						
副教材等	ポイントで整理情報モラル（数研出版） 基礎からはじめる情報リテラシー（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 情報社会をより良く生きるために必要な、コンピュータ、ネットワークに関する理解を深め、それらを活用できる能力を身に着けましょう。
- ネットワーク上の情報を活用する方法、発信の仕方について、演習や発表、グループワーク等を通して考え、コミュニケーション力を身につけましょう。

２　学習の到達目標

- 莫大な情報から信憑性を判断して情報を収集し、論理的に分析を行い、他者と協同して問題の解決を図ることができる。
- 情報モラルを深め、発表や発信を通して、適切かつ積極的に社会に参加する態度を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	● 情報モラルに関し、責任ある行動を取れる。 ● 日常の問題解決において PDCA サイクルを意識できる。 ● 問題解決のためにダブルループ学習行える。	● 問題の発見に向けて、多角的な視野で客観的に物事を分析できる。 ● 複数の情報を結びつけ、新たな価値を創造できる。 ● グループでの情報共有、意思決定を積極的に行うことができる。	● 問題解決のために必要な情報機器を適切に扱える。 ● 社会で必要とされるコンピュータ等の操作ができている。	● 情報に関する法律とその意味を理解し、事の善し悪しを自身で判断できる。
評価方法	日々の振り返り 実習作品 レポート 発表 相互評価 グループワーク	日々の振り返り 相互評価 レポート 発表 グループワーク 定期考査	日々の振り返り 課題作品 発表 実技テスト グループワーク	日々の振り返り 定期考査 グループワーク 発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報社会	○社会の変化と個人の責任 メディアとその特徴 個人情報とその保護	○	○			a:情報モラルに関心をもつ b:モラルに留意しつつ、自身の考えを発信し、他人の意見に耳を傾けることができる。 c: d: 個人情報の価値を理解し、適切に情報を扱うことができる。	振り返り 情報発信 定期考査
1学期	コミュニケーション	○ネットワークの仕組み インターネットサービス 合意形成			○	○	a:ネットワークの仕組みを理解し、安全かつ有効に活用できる。 b:情報システムの利用の仕方や、付き合い方を考える。 c:情報収集、発信に PC を用いることができる。 d: 法の性質と考え方を理解し、個別の状況に応じて、論理的に結論を導くことができる。	振り返り 情報発信 定期考査
1学期	情報と安全	○個人による安全対策 暗号化 知的財産権 著作権		○		○	a:著作権をについて意識し、著作者に敬意を払える。 b:知的財産に関して、身のまわりで気をつけなければならないことをまとめ、発信できる。 c: 正しく引用したレポートが書ける d: 暗号化された通信とそうでない通信を理解し、必要に応じて活用ができる。	振り返り 情報発信 課題作品 定期考査
2学期	ディジタル技術	○ディジタル情報の特徴 数値や文字の表し方 画像のディジタル化 さまざまな計算		○		○	a:アナログとディジタルの違いや 2 進法に興味を持つことができる。 b:ディジタルのメリットデメリットを理解できる。 c:ディジタルデータの加工、編集ができる。 d:ディジタルデータの仕組み理解し、容量などを求めることができる。	振り返り グループワーク 情報発信 課題作品 定期考査

2学期	問題解決	○問題を解決するには 情報収集 情報の整理 分析のための工夫	○	○			a:グループワークで積極的に貢献している。 b:情報の収集分析が、論理的客観的に行われている。 c:発表に際して、適宜必要なアプリケーションを利用できる。 d:PDCA サイクルを理解し、グループワークでより良い結果を出すために活用できる。	グループワーク 情報発信 相互評価 課題作品 発表 定期考査
3学期	問題解決	○問題解決の実践 Web ページによる情報発信		○		○	a:積極的に情報を発信しようとする態度。 b: 情報を発信する前に、自分の発信しようとしている情報を客観的に振り返り、説得力があるかなどに配慮できる。 c:HTML タグを適切に扱える。 d: ユニバーサルデザインを理解し、誰もがわかりやすいように情報を発信する。	グループワーク 情報発信 相互評価 課題作品 発表 定期考査

※生徒の興味関心や取り組み状況により，順序と内容について一部変更を加えることがある。

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。